



市保連 だより

2021
(3月)

〔第501号〕

令和3年3月1日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟
企画広報委員会

発行責任者 上野 誠之
〒860-0004 熊本市中央区新町2-4-27
熊本市健康センター新町分室2階
TEL (096) 322-0096
委員長 松下 英信
委員 坂本 純 笠田 たつ子
吉村 美穂 山田 真裕
今村 弘之



理事会

「一期一会」

研修副委員長 宮本 寿子



令和2～3年度研修委員会副委員長を仰せつかった二岡保育園の宮本寿子です。病気療養のために挨拶が遅れてしまいましたが宜しくお願ひ致します。現場の長かった私にとって長期に休む＝迷惑をかけてしまう…と言う昭和的な考えがなかなか抜けずにいましたが「具合が悪い時は休んでいいよ」と声をかけて頂き、沢山の委員さんが私の穴を埋めるために動いて下さり早いもので一年が過ぎようとしています。研修委員会は今回が初めてではありませんが、以前の委員としての経験値が活かせず、今は目の前の研修を終えるだけが精一杯です。キャリアアップ研修を始め経験のないことにはドキドキしながら新たな気持ちで臨んでいます。コロナ禍の中でも研修は新しい時代の研修に形を変えながら進んでいます。連盟の中で研修が大きな位置を占めていることは言うまでもありません。

久しぶりの委員会に参加しても浦島太郎状態で話の内容についていくことはできませんでしたが、委員長の「コロナ禍をプラスに活かす」というポジティブな考え方に加えて、前理事長がご挨拶の中で「エール」というドラマの台詞を引用されたことを思い出して、その言葉に後押しされながら再スタートを切りました。

委員長の一举一動を参考にしながら研修担当として経験を積み、自身の学びにつながるような意識を持って人としてのスキルアップにつなげていけるよう頑張りたいと思います。

「ALL DAY NIPPON in 保育」に参加

コロナ禍で多くの大会や研修会が中止を余儀なくされる中、令和2年12月23日に日本保育協会支部合同の全国縦断オンライン研修会が開催されました。

この研修会には、日本保育協会の大谷恭夫理事長をはじめ役員の皆様に加え、この企画に賛同した全国保育協議会の万田康会長、全国私立保育園連盟の小林公正会長、こども・保育政治連盟の役員の方々も参加されるなど「オール保育」の研修会となりました。

当連盟からは、パレアホールのサテライト会場に43名の方が参加されました。各地区をzoomでつなぐ場面では、上野誠之理事長をはじめ5名の先生が全国に向け、当連盟の活動を紹介されました。また、たつだ保育園の重岡啓一先生がこども・保育政治連盟の副会長として、国政の動きや保育団体と保育推進の一体的活動が重要というお話をされました。

保育の現況、保育の課題、withコロナ、保育と政治等どれもがこれからの保育を考えていく中で、重要な提言で、時間を感じさせない有意義なそして楽しい研修会となりました。



『合同研修会 ～泣いて笑って明日への活力～』 開催

令和2年10月29日熊本市国際交流会館において、研修委員会、福利厚生委員会、保育士会、給食部会の合同研修会が開催されました。

今回の合同研修会は、コロナ禍にあつて保育園で懸命に働く会員の不安を少しでも和らげ、元気づけ、楽しんでもらおうと「泣いて笑って明日への活力」をテーマに講演会とお楽しみ会の2部構成で実施されました。

第1部：講演会 演題：「心がかぜをひくとき～安心感と自立～」

講師：臨床心理士・西九州大学非常勤講師 吉村春生氏

第1部の講演会は、佐賀のきみまろと異名をとるブロッコリー先生こと吉村春生先生が軽快な口調で講演され、興味深い話の中にも思わず笑いだしてしまう、有意義な、楽しい講演会となりました。

【講演内容】

子どもは、甘えによって安心感(心的エネルギー)が蓄積され、自立に向かって飛んでいくことが可能になる。保護者も同じでエネルギーが足りないと身近な保育者にあたるなどの行動として現れる。

クリーンアップすることが大切で、言葉にならないことば＝涙を流すことが有効。泣いている人は泣かせてやる。「お母さん、お困りではありませんか」と声をかけることにより、あなたに関心を持っていますよ、私の時間をあなたのために使ってもいいですよ。と思わせる。『たかが声掛け、されど声掛け。』

このことは、コロナ禍で頑張っている保育者にも言えることです。ピンチの時、そばにいて声をかけてくれる人はとても大切な人です。『人生は出会い』です。出会いを大切にしましょう。



第2部：お楽しみ会 ～Happy Halloween～

第2部は、女性コーラスグループ「月の雫」のミニコンサートとお楽しみ抽選会が行われました。

女性コーラスグループ「月の雫」は、医療職をはじめエッセンシャルワーカーの皆さんへの慰労を目的に活動されているグループで、今回、コロナ禍で頑張る保育士を元気づけるために歌を聞かせていただきました。

短い時間で曲数も少なかったのですが、涙を流す先生もいらっしやるなど、心に染みるミニコンサートでした。感動する機会の少ない今、心に響く歌声を届けていただいた「月の雫」さんに感謝です。



コンサートが終わり、いよいよ空くじなしの大抽選会です。今年は、火の国まつりや体育祭など連盟の行事も軒並み中止となり、福利厚生活動が出来ず、がっかりされた会員も多くいらっしゃったのではないのでしょうか。そのような中、少しでも会員の皆さんに元気を出して欲しい！笑って欲しい！！喜んで欲しい!!!そのような思いから今村福利厚生委員長がこの企画を立案されました。



抽選会では、ハロウィンの時期に合わせ、かわいい魔女に扮した保育士会役員がお手伝い。くじ引きのたびに会場は大きな歓声に包まれ、終始笑顔の絶えない抽選会でした。豪華賞品が当たった方はもちろん、帰りにお渡ししたおいしいお菓子に「私たちにも♡」と参加者の笑顔。その笑顔にスタッフも癒され、力をもらった合同研修会になりました。



感染症対策

へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方

手洗いの前に 爪は短く切っておきましょう 時計や指輪を外しておきましょう

- 1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 2 手の甲をのばすようにこすります。
- 3 指先・爪の間に念入りにこすります。
- 4 指の間を洗います。
- 5 親指と手のひらをねじり洗います。
- 6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやる



マスクを着用する (口・鼻を覆う) ティッシュ・ハンカチで 口・鼻を覆う 袖で口・鼻を覆う



何もしずに咳やくしゃみをする

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う 2 ゴムひもを耳にかける 3 隙間がないよう鼻まで覆う



咳やくしゃみを手でおさえる



■ 詳しい情報はこちら

厚労省

検索





令和2年度新企画 ち得情報！

日常生活の中で、「もう少し楽になるといいな」ということや、「少し得した気分」となるような、ほんの些細なことだけど知ると誰かに伝えたいくなるようなもの集めてみました。皆さんでご覧ください。



今回のテーマは【避難訓練と正常性バイアス】

保育園やこども園では毎月、火災・水害・地震などの避難訓練をしています。でもなぜでしょうか。それは、非常事態の際、「正常性バイアス」に脳を支配されないようにするためです。つまり、人の心は予期せぬ事態や危険に対して、ある程度鈍感にできていて異常だと感じずに、正常の範囲内のものとして処理する無意識のメカニズム、「正常性バイアス」があります。このために、無意識に、身に迫る危険性を過小評価してしまい、それを回避するタイミングを失ってしまうことが時としてあります。そこで、訓練を重ねることで、いざというとき、自然にいつもと同じ行動をとれるようにするのだそうです。

参考 <https://ja.wikipedia.org/wiki/正常性バイアス>



3月の予定



※新型コロナウイルス感染拡大防止により延期・中止する場合がございます

 会 合	日 時	会 場
臨 時 総 会 	3月18日(木)	くまもと県民交流館パレア パレアホール 



ご結婚おめでとうございます



木の葉こども園

令和2年12月25日

保育教諭 内田 佳奈子先生(旧姓：埋田)

